

スケジュール

〔1日目〕 7月20日（日）




- ・花輪川を知ろう！
- ・川を見てみよう！（土橋）
水の色、におい、川の周りの様子観察
川の中も良く見てみよう！（土橋）
バックテスト（COD）実験
- ・花輪川で昼食
- ・川に入ろう 福土先生の話
- ・つかまえた生き物をよく見てみよう！
- ・ふりかえりシート記入

〔2日目〕 7月21日（祭）

- ・印旛沼にて屋形船に乗船
- ・印旛沼公園にて昼食
- ・印旛沼に行って感じたこと（子供たちで話し合い⇒発表）
- ・花輪川の生き物・水調べの報告
- ・みんなで考えてみよう！作戦会議
班ごと発表・意見交換 講師：福土先生
- ・ふりかえりシート記入とふりかえり
- ・修了書授与（君も八千代の水はかせで賞）


振り返りシート第1日目



*子供の第1班～4班は一つにまとめました

○花輪川で生き物を探しました		
	★花輪川はどんな川だと思いましたか？	★心に残ったことは？
子供	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな川。 ・きれいに見えて少しきたくない川。 ・生き物がいっぱいいる川。 ・生き物がいっぱいいるが、種類が少ない。 ・きれいで魚がかくれられる草があってザリガニが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドジョウを触れなかったこと。 ・去年は川に入れなかったが、今年はいれたこと。 ・あまも(水草)も洗浄器のこと。 ・大きなドジョウ(大五郎)を捕まえたこと。 ・水のことを調べたこと。 ・川に入って、ゲンゴロウを捕まえたこと。 ・オニヤンマのヤゴがいた。 ・「もうちょっときれいにできるかな」と思った。
大人	<ul style="list-style-type: none"> ・思いの外小さな川。 ・都会の川だが、思ったよりきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「印旛沼の源流」ということに驚いた。 ・湧水が意外に多いと感じた。川の水が冷たかった。
	★ざんねんだったことは？	★気づいたことは？
子供	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日雨が降って、死んだ生き物がいたこと。 ・カワセミが見れなかったこと。 ・一昨年会った、金魚とカワセミに会えなかったこと。 ・靴が泥にはまった。 ・アメリカザリガニをつかめなかったこと。 ・ハグロトンボの写真が取れなかった。 ・ザリガニ以外の生き物が少なかったこと。 ・たくさんの生き物が死んでいたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川には色々な生物がいるということ。 ・新川の近くにも田んぼがあったけど、花輪川の近くにも田んぼがあった。 ・水草の中とか隠れやすいところに生き物が沢山いると教えてもらった。 ・ドジョウがすごくつるつるしていた。 ・生き物が少ない。ザリガニが多い。 ・深いところと、浅いところがある。 ・上流の水はきれいだったこと。 ・もっと生き物を増やしたいと思った。 
大人	<ul style="list-style-type: none"> ・死んでいる生き物が多かったこと。 ・生き物の種類が少なかったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若干水のすえたにおいがあった。 ・水質の管理が難しく、大切に使用したいと思った。

振り返りシート第2日目

*子供の第1班～4班は一つにまとめました

○屋形船に乗って印旛沼の生き物と水を調べました		
	★わくわくしたことは？	★ざんねんだったことは？
子供	<ul style="list-style-type: none"> ・水調べの色がどんな色になるかわくわくした。 ・屋形船に乗るとき、どんなことがあるか。 ・船がゆれた。 ・船に乗って、印旛沼を見たとき。 ・どんな魚が見られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種などを死ぬまできちんと飼わないで、印旛沼に逃がす人がいること。 ・カミツキガメが見れなかったこと。 ・水の中が見れず、サギ以外の生き物が見れなかった。 ・印旛沼の水があまりきれいではなかったこと。 ・魚が見れなかった。 ・沼の底が全く見えなかった。 ・印旛沼の水がきたなくて魚があまり見られなかったこと。
大人	<ul style="list-style-type: none"> ・沼の外側からしか見ていなかったのですが、屋形船から印旛沼を見るとなかなか良いところに思えた。 ・花輪川での子供たちの楽しそうな笑顔。服が濡れるのにも構わず、土壌やザリガニとの真剣勝負？ ・子供たちが思った以上に深く、色々な面から考えていることが判って感動した。 ・本当に住んでいる所のすぐ近くののに、豊かな自然が残っていて、川に生き物が見られたこと。 ・大人になって川に入り、魚を取ったり、水調べをしたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の大雨の影響か魚や生き物が花輪川で沢山死んでいたこと。 ・印旛沼には昔は貝類も住んでいたとのことだが、今はヘドロが多くなり、魚介類も減ってしまったこと。 ・水源の印旛沼の透明度が19センチしかなかったこと。印旛沼に魚や動物だけではなく、植物の外来種も見られたこと。 ・もう少し印旛沼の調査が出来れば良い。漁師さんに協力してもらって、網を仕掛けるのを見るとか。

	☆発見したことは？	☆どのような花輪川と印旛沼になれば良いですか？
子供	<ul style="list-style-type: none"> 船の後ろで魚が跳ねていた。 印旛沼に知らない魚がこんなにいるとは思わなかった。 まだウナギが沼に居ること。 色々なことに印旛沼の水が使われていること。 色々な生き物がいることや鳥もいっぱいいること。 カワウやサギなどの色々な鳥がいたこと。漁師さんもいて吹き流しなどで風向きも調べていた 花輪川も印旛沼も田圃がとても多くて回り中取り囲んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな生き物がいて、自然豊かな花輪川と印旛沼になれば良い。 生き物が沢山いて、住みやすいきれいな水の川や沼。花輪川はもっと透きとおった水、印旛沼は泳げるような水になったら良いです。 ゴミもなく濁っていない生き物(魚や昆虫)が沢山いるところになってほしい。 たくさんの魚が心地よく住める川になってほしい。 みんなが泳げるくらいきれいな川。生き物がたくさんいる花輪川と印旛沼。 
大人	<ul style="list-style-type: none"> 印旛沼は水が汚れているが、漁師がいて、ウナギなどを取っていること。その他にも色々な魚が住んでいること。 利根川の水を土管で引いて飲料水にしていることは知らなかった。 自分の子供が進んで発表するとは思っていなかったのが驚きの発見だった。 ナガエツルノゲイトウが印旛沼だけでなく田んぼにまで侵入している厄介な外来植物であること。 身近なところにも自然が思っていたよりあふれているなど思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちが水遊びが安心して出来る、多くの種類の生き物がすめる川や沼。 生き物がいたら食べたくなるような沼や川。 もっと花輪川を八千代市民に知ってもらおうこと。現状を知れば今より良くしたいと思うので、みんなに愛される川になってほしい。 人がいつも安心して利用できる様な水辺であってほしい。 人間が壊した環境なので人間の力できれいにしたいと考えます。

みんなで考えよう！ 作戦会議

○生き物がたくさん住める花輪川になるにはどうすれば良いか。

第1班 チーム名 自然チーム	第2班 チーム名 吉田大五郎
<ul style="list-style-type: none"> ①家から汚れた水を流さない ②外国の生き物を入れない ③ごみを減らす。 ④川のそこのヘドロなどを取って流れてきたどろをよごさない。 ⑤かくれがを多くする。水草をふやす。 ⑥せんざいを多く使わない。 ⑦油やしょうゆなどを水でうすめて流さずに紙でふいたりする。  <p>【メンバー】 リーダー：鈴木啓太 ・清松終吾・大野快斗・佐久間秀・新井莉乃・田中和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ポイ捨てをすると、川がきたなくなるから、かんしカメラをつけてポイ捨てをした人からばっきんをとる。 ②川を整備するために、色々な活動をする。 ③緑を増やして生き物たちのすみかを増やす。  <p>【メンバー】 リーダー：内藤楽弥 ・内田竜司・米花紘・高橋歩志・近藤功弥</p>
第3班 チーム名 ザリガニ	第4班 チーム名 メダカ
<ul style="list-style-type: none"> ①ごみのポイ捨てをみんながしない。 ②工業排水をキレイにする。 ③川の中のごみを拾う。 ④外来種(ブルーギル・ブラックバス)を放さない。 ⑤水草をふやして魚が住みやすいようにする。 ⑥ポスターを作る。 ⑦魚に酸素がない・エサがない・水がきたないと言うようなストレスを与えない。  <p>【メンバー】 リーダー：鶴岡息吹 ・才間正樹・青木埜晏・上野裕也・清松佑志</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ゴミ拾いをする。 ②緑を増やす ③ごみを捨てない ④川の中のごみを減らす ⑤生き物をたくさんとらない。 ⑥緑を沢山とらない。 ⑦川の水が濁るものを捨てない。 ⑧生き物を取ったら川に返す。 ⑨工場からの水を流さない。 ⑩生き物が住みやすい川にする。 ⑪石やごみを川に入れない。 ⑫川を荒らさない。 ⑬外来種を持ち込まない。 ⑭生き物のすみかを作る。 ⑮週に1回そうじをする。 ⑯洗剤を出来るかぎり使わない。  <p>【メンバー】 リーダー：鈴木麻友 ・山崎耀介・関唯人・山本日和・宇恵野司</p>
大人チーム 17名	
<ul style="list-style-type: none"> ①生活排水の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・食器を拭いてから洗う ・汚れたものを流さない ・洗剤の量を少なくする ・環境にやさしい洗剤を使う ②下水道の整備 ③工業排水を考える <ul style="list-style-type: none"> ・排水基準は？ ・下水に回せないか？ ④外来種を増やさない生態系を壊さない 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤親子で川についてもっと学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが使った水がどう流れてどう使われているかを知る。 ⑥ヒメガマを半分くらいにする <ul style="list-style-type: none"> ・水に光が入るように ⑦川の淵などの整備 ⑧雨で土砂が崩れないように ⑨川に小さな段差を作る ⑩水をきれいにする生き物を増やす ヨシやタニシなど 